



神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

令和3年12月17日

12月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28

目標に向かって努力する

校長 山内 清一

12月12日(日)、今年度もコロナ感染防止を図りながら、杉並区中学校対抗駅伝大会2021が開催されました。神明中チームは、男子が4位、女子が19位という結果でした。サポートにまわった生徒を含め全員が日頃の練習にひたむきに取り組み、男子も女子も一人ひとりが襷を繋ぐために精一杯の走りを見せてくれました。

当日は、都立和田堀公園陸上競技場（済美山運動場）やコースとなった沿道で、コロナ感染防止のため制限された中、保護者・地域の皆様からご声援をいただきました。ありがとうございました。

さて、先日、知人の家を訪問した時に、客間に立派な掛け軸がありました。何気なく眺めていたのですが、その掛け軸には次のような文字が書かれていました。

「道近しといえども歩まざれば至らず 事小なりといえども成さざれば成さず」

ちょっと難しい言葉がちりばめられていますが、意味はだいたいこんな感じでしょう。「道は近い。つまり目的地は近いといっても、歩かなければ着くことはできません。物事は小さいといっても、行動しなければ達成できません」

この言葉は、紀元前4世紀から3世紀（今から2500年くらい前）の中国で活躍し、儒教を学んだり教えたりする学者の一人であった荀子（じゅんし）という人が残したと伝えられている言葉です。

この荀子という人は、「性悪説」というものを唱えたことで有名です。「性悪説」とは簡単に言うと、人間の本性は悪なので、努力して善に向かうべきだということです。これは、孟子（もうし）という人が「人間の本性は善であり、努力してもともと持っている善を伸ばしなさい」という「性善説」に対して唱えられたものでした。

みなさんはどちらだと思えますか。人間はもともと善ですか、悪ですか。正反対の考え方のように見える二つの考え方ですが、似ているようにも思えます。「人間は善である」と言っている孟子も、なんらかのきっかけでそれが隠されることがあると言っていますし、「悪である」と言う荀子は、学問を積み、努力を重ねることで悪は現れないと言っています。

このことをふまえて、さっきの言葉の意味を考えてみましょう。人間の弱さと良さの関係が見えてきます。「目標や目的はどんなに近く、やさしく見えても、人間には楽をしたがる性質があるから、足を踏み出すこと、つまり努力をしなければ決して目標や目的は達成できません。物事はどんなに小さくても、人間には甘く見ることがあるから、しっかり行動したり、学問や努力を重ねなければ、決して完成はしませんよ。自分の弱さと戦い、目標をしっかり定めて頑張ることによってのみ成し遂げることができるのです」ということを教えてくれているように思います。

今年も、3年生の面接練習が始まりました。神明中では学校支援本部の協力でまずは地域の方による面接練習を行っています。進路の目標について、一人ひとりが決意を話しています。中には具体的に言えず、地域の方からアドバイスをいただいたりする生徒もいます。目標達成のために、そのアドバイスを生かして歩みを進めて欲しいと思います。

「道近しといえども歩まざれば至らず 事小なりといえども成さざれば成らず」

【杉並区中学校対抗駅伝大会2021】12月12日(日)



《祝！男子第4位入賞 女子第19位》

【男子】

1区	坂本	蓮	(3年)
2区	濱野	道朗	(2年)
3区	伊藤	海斗	(2年)
4区	土谷	太一	(2年)
5区	森田	光貴	(2年)

【女子】

1区	畠山	涼音	(2年)
2区	高木	彩花	(1年)
3区	北市	万智	(2年)
4区	本多	真理	(3年)
5区	後藤	珂歩子	(1年)

《補欠選手》

【男子】	山田 椿貴 (2年)	田村 右京 (2年)	栗原 遥生 (3年)
	奥田 瑛太 (3年)		
【女子】	青木 千紘 (2年)	三上 日菜子 (1年)	曾根原 真子 (1年)



【1月の予定】

1/11 (火)	始業式
1/15 (土)	土曜授業・引き渡し訓練
1/26 (水)・27 (木)	スキー教室保護者会 (2)
1/26 (水)～28 (金)	都立推薦入試
	菅平スキー移動教室 (2)